

地域科学部発

令和6年度岐阜大学公開講座

人生百年時代の 教養講座Ⅱ



受講料無料

対象／高校生以上

募集人数／100人
(応募者多数の場合は抽選)

2024.

9/14[±]・21[±] 13:30~17:00
(各講義90分)

会場 岐阜大学地域科学部101講義室

プログラム

- 河合 隼 教授「災害の時代における働き方と労働法」
- 向井 貴彦 教授「オオサンショウウオに学ぶ環境問題」
- 橋本永貢子 教授「場面と表現から考える異文化理解—日本語と中国語を例に」
- 南出 吉祥 准教授「[地域の居場所づくり]の多様な展開」

申込方法 申込期限／8月19日(月)

受講を希望される方は、件名を「公開講座受講希望」とし、以下のメールアドレスへ、「住所」、「氏名(ふりがな)」、「年齢」、「電話番号」、「メールアドレス」、「車でのご来校の有無」をお送りください。

E-mail: chiiki@t.gifu-u.ac.jp

※お寄せいただいた個人情報は厳重に保管し、本講座に関する連絡以外の目的では一切使用致しません。



アクセス：JR岐阜駅前、名鉄岐阜駅前から岐阜バスで約30分

申込先・問合せ先

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学 地域科学部 総務係 Tel: 058-293-3002

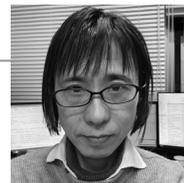
E-mail: chiiki@t.gifu-u.ac.jp

主催／岐阜大学
企画／地域科学部

9月14日(土) 13:30~17:00

13:30 — 13:35 開講挨拶

13:35 — 15:05 90分 河合 壘 教授(法学(労働法・民事法))



「災害の時代における働き方と労働法」

世界的に大きな影響をもたらしたコロナ禍は少し落ち着きを取り戻したものの、最近では毎年のように、大雨や地震、津波などの自然災害が起きています。労働法は、働く人を守るために大きな役割を果たしている法律ですが、こういった大きな時代の変化の中では、これまであまり考えられていなかったような問題も起きています。この講座では、こうした時代や情勢の変化を踏まえ、私たちの働き方にどのような課題を投げかけているのか、そしてその中で法はどうあるべきか、また私たちはどう考えていくべきかを見ていきます。

15:05 — 15:20 休憩

15:20 — 16:50 90分 向井 貴彦 教授(生態学)



「オオサンショウウオに学ぶ環境問題」

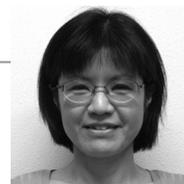
オオサンショウウオは全長1m以上に達する世界最大級の両生類です。類似した種は中国大陸にも分布しますが、日本固有種のオオサンショウウオは岐阜県東白川村から九州北東部にのみ分布し、国の特別天然記念物に指定して保護されています。しかし、そのような貴重な動物でありながら、さまざまな原因で絶滅の危機に瀕しています。オオサンショウウオがおかれている現状には、開発、里山の衰退、外来種、温暖化といった生物多様性を減少させる代表的な要因がすべて影響しており、まるで環境問題の縮図のようです。ここでは、オオサンショウウオを題材に、岐阜県の自然環境とその現状をお話する予定です。

16:50 — 17:00 質疑応答・閉講挨拶

9月21日(土) 13:30~17:00

13:30 — 13:35 開講挨拶

13:35 — 15:05 90分 橋本 永貢子 教授(言語学)

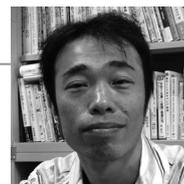


「場面と表現から考える異文化理解—日本語と中国語を例に」

昨年6月末の調査で、日本全体でも岐阜県においても在留外国人数は過去最高を更新し、今後も更に増加することが予測されます。もはや生活圏に外国人がいることは当たり前となりましたが、私たちが海外へ出かける場合においてもそうであるように、彼らが必ずしも「郷に従う」或いは「従える」わけではありません。とりわけある場面でのどのような言語行動を取るのか、相手への思いは同じでも表現が異なるために誤解をまねくこともあります。本講座では、日本人と中国人の言語行動の相違を例に、文化の違いがコミュニケーションに与える影響を探り、異なる文化背景を持つ個々の人々とより良く共生していくことについて考えていきます。

15:05 — 15:20 休憩

15:20 — 16:50 90分 南出 吉祥 准教授(教育学)



「『地域の居場所づくり』の多様な展開」

近年、さまざまな場面で「地域の居場所づくり」が広がりつつあり、一部では制度的な位置づけも与えられるようになってきています。そうした居場所がなぜ求められるようになってきたのか、既存の場とどう違う点があるのか、そこではどういった実践が展開されているのか、現場の実態に即しながらお伝えします。「居場所」は人によって捉え方が異なる主観的なものであり、ある場所が誰かにとっての居場所だったとしても、他の人にもそれが当てはまるとは限りません。そうした多義的かつ曖昧な居場所を、かかわる人たち同士でどのようにつくっていくのか、答えなき実践的な問いを皆さんとともに探ってみたいと思います。

16:50 — 17:00 質疑応答・閉講挨拶